

Interview

田川警察署 生活安全課防犯係 合原 政幸 係長

防犯には地域の力が不可欠

福智町の昨年の犯罪発生件数を見ると、田川警察署管内の市町村の中では、田川市、川崎町に続き3番目に高い件数となっています。昨年は2階建て町営団地への忍び込み事件が多発しましたが、今でも玄関や窓などの施錠忘れのために被害にあうケースも少なくないようです。

まずみなさんにご理解いただきたいのは、「自分が被害者になるかもしれない」ということ。身近に起きている犯罪を自分のことに置き換えてみて、どうしたら被害にあわないかを考えてみるのが大切です。少しの心がけで犯罪被害を防げる場合がたくさんありますので、「自分の身は自分で守る」という自主防犯意識を持っていただきたいと思います。

また空き巣犯人の心理としては、当然捕まりたくないの「人の目」を嫌います。昨年田川警察署では、犯罪が多発した地域の警邏(巡回)活動を強化したこともあり、大幅に犯罪が減少しました。同じように福智町でも実施している「青バト」や、住民パトロールなどもかなりの犯罪抑止効果があり、実際そういう活動が活発な地域では、犯罪が激減することが実証されています。

みなさんが安心して暮らせるよう、わたしたち警察は今後も事件の捜査、取り締まりなどに全力で取り組んでまいります。

地域の安全を守るために何よりも大事なことは、そこに住むみなさん一人ひとりが「犯罪被害にあわない」という高い意識を持つことです。そうして地域全体がひとつにまとまることで、防犯の大きな力になるのだと思います。



「守られる」から「守る」への意識改革 協働で守る 3 We must defend our town

その具体的な取り組みの第一歩として、福智町での防犯・防災・緊急時などに対応するための連絡会議が、まもなく設置される予定です。実態の把握や啓発、住民の主体的な防犯活動を支援する体制づくりなど、積極的に地域との連携を図りながら取り組んでいきます。

「防犯」が警察や行政、一部の住民だけで行うものでないことは、言うまでもありません。いつ自分が被害者になるかわからない現代、わたしたちは「守られる」から「守る」へ、意識を変えなければならぬ。今後は、自主防犯はもとより、防犯力を備えた一人ひとりが地域でまとも、行政と協力して町全体の犯罪抑止力を高めていくことが重要です。

空き巣犯が奪うのは現金や物だけではありません。仮に何も盗まなかったとしても、全く知らない誰かが自分の家に入り込み、家中を物色されることを考えてみると、決して気持ちのよいものではないと思います。空き巣は、ほとんどの被害者に精神的なダメージをも与えるのです。夜怖くて眠れない。もうこの家に住みたくない。中にはそう訴える人も少なくないようです。



「防犯」が警察や行政、一部の住民だけで行うものでないことは、言うまでもありません。いつ自分が被害者になるかわからない現代、わたしたちは「守られる」から「守る」へ、意識を変えなければならぬ。今後は、自主防犯はもとより、防犯力を備えた一人ひとりが地域でまとも、行政と協力して町全体の犯罪抑止力を高めていくことが重要です。

「防犯」が警察や行政、一部の住民だけで行うものでないことは、言うまでもありません。いつ自分が被害者になるかわからない現代、わたしたちは「守られる」から「守る」へ、意識を変えなければならぬ。今後は、自主防犯はもとより、防犯力を備えた一人ひとりが地域でまとも、行政と協力して町全体の犯罪抑止力を高めていくことが重要です。

防犯意識を習慣化する

被害にあって気付く「意識の低さ」。後悔しないために、まず次のことを今日から実行してください。

外出時在宅時も必ず施錠!

無施錠は泥棒へのサービス。短時間でも外出時はもちろん、就寝時なども必ず施錠しましょう。ちなみに泥棒にとっては、ドアも窓も同じ「出入口」です。



家の近くに鍵を隠さない!

ポストの中や植木鉢の下はもはや一般的。隠したことになりません。その他の場所でも、長時間鍵を屋外に置きっぱなしにするのは危険です。

留守中も留守だと思わせない!

次のような方法があります。

- ▶夜遅くなる場合は家の中の明かりを一部つけておく ▶留守番電話設定にしない ▶カーテンを閉めっぱなしにしない ▶洗濯物を干しっぱなしにしない ▶1日以上留守にする場合は新聞をとめて、郵便物をためないよう近所の人にとってもらう ▶家族の人数を悟らせないよう、表札に全員の名前を書かない

空き巣被害をおさえる

家の貴重品の保管場所を、もう一度見直してみてください。

- 1 通帳や印鑑と一緒に保管しない
- 2 貴重品は目線より高い位置に
- 3 定期的に保管場所を変える

▶特に、一度入られた家は要注意!



どれだけ対策をしても相手はプロ。新たな手口を使って、またはあなたがちょっと油断したスキをねらい、家に侵入してしまうかもしれません。万が一侵入されても、被害を最小限に食い止められるよう、日ごろから気をつけておきましょう。

防犯設備を整える

泥棒は次の4つを特に嫌います。

- 1 自分の姿を見られること
- 2 侵入に時間がかかること
- 3 光で照らされること
- 4 突然の大きな音

最近はこちらに対応した効果的な防犯製品がたくさんあります。

▶価格もさまざまなので、各家庭にあったものを探してみてください。

- ドアの対策 ▶補助錠、防犯サムターン、ガードプレートなど
- 窓類の対策 ▶補助錠、防犯ガラス、防犯フィルム、アラームなど
- 周囲の対策 ▶センサーライト、防犯カメラなど



→防犯システムが設置されていることをステッカーなどで提示し、侵入前の泥棒を威嚇しましょう。

泥棒が特に狙うのはこんな家! check list

▶泥棒がねらいを定めるのは「泥棒しやすく逃げやすい家」、「怪しまれにくく捕まりにくい家」。そんな好都合な家を探して、泥棒は日々、次のところをチェックしています。

- 公園や自動販売機、コンビニエンスストアなどの近くにある家
- ▶ 泥棒がうろついていても怪しまれにくい。
- 人通りが少ない場所にある家
- ▶ 人目につきにくいので侵入しやすい。
- 角地や、周辺に空き地がある家
- ▶ 逃げるときに多方向へ逃走しやすい。
- 工事現場の近くや線路沿いの家
- ▶ ガラスを割る音などが気付かれにくい。
- 人の入れ替わりが多い集合住宅
- ▶ 泥棒がうろついていても怪しまれにくい。

▶あなたの家にも当てはまるものがありますか。ただしこれらは立地条件なので、変えることはなかなか難しいもの。泥棒のターゲットにならないためには、それぞれの家で、弱点にあった対策が必要です。



→歩くと音がする。じゃりも防犯対策のひとつ。庭で犬を飼うのも効果的です。

